

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	桁杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務				
渡良瀬川河川事務所	1	渡右	54-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市相生町	54.00-58~54.50	529.9	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	2	渡右	53-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市相生町	53.50-41~53.50+17	58.1	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	3	渡右	53-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	桐生市相生町	53.50-41	1箇所 (8.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(相川橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	4	渡右	52-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市相生町	52.75+8~52.75+83	74.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	5	渡右	52-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市相生町	52.75-40~52.75+8	48.2	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	6	渡右	52-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市相生町	52.75-65~52.75-40	24.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	7	渡右	52-4	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	右	群馬県	桐生市相生町	52.75-98~52.75-65	33.8	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	8	渡右	52-5	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	A B 要注	右	群馬県	桐生市相生町	52.40+77~52.75-98	39.9	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	9	渡右	52-6	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	右	群馬県	桐生市相生町	51.80+107~52.40+77	575.3	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	10	渡右	51-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市相生町	51.60-29~51.80+107	349.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	11	渡右	51-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	桐生市相生町	51.40-56	1箇所 (2.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(上毛線)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	12	渡右	51-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市相生町	51.40-73~51.40-60	12.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	13	渡右	51-4	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市相生町	51.20+86~51.40-73	12.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	14	渡右	51-5	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	A B 要注	右	群馬県	桐生市相生町	51.20-33~51.20+86	118.3	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。 (危険箇所(越水):高津戸観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	15	渡右	51-6	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	右	群馬県	桐生市相生町	50.80+5~51.20-33	374.9	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 (危険箇所(越水):高津戸観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	16	渡右	50-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市相生町	50.80-22~50.80+5	26.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	17	渡右	50-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市相生町	50.40+102~50.80-22	226.1	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	18	渡右	50-3	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	右	群馬県	桐生市相生町	50.40-43~50.40+102	144.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	19	渡右	50-4	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県	桐生市相生町	50.20+95~50.40-43	52.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	20	渡右	50-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市相生町	50.20-59~50.20+95	153.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	21	渡右	50-6	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市相生町	50.20-98~50.20-59	39.3	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	22	渡右	50-7	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市相生町	49.80-5~50.20-98	443.6	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	桁杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	23	渡右	49-1	渡良瀬川	破堤跡 旧川跡	要注 要注	右	群馬県	桐生市相生町	49.80-47~49.80-5	42.3	破堤跡 (S24キティ台風) 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	24	渡右	49-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市相生町	49.80-66~49.80-47	18.8	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	25	渡右	49-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市桜木町	49.40-151~49.40-64	87.2	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	26	渡右	48-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市広沢町	48.60+105~48.80-59	70.3	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	27	渡右	48-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市広沢町間ノ島	48.20-89~48.40	273.3	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	28	渡右	48-3	渡良瀬川	水衝洗掘 破堤跡	B 要注	右	群馬県	桐生市広沢町間ノ島	48.00+52~48.20-89	47.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡 (S24キティ台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	29	渡右	48-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市広沢町間ノ島	47.80+61~48.00+52	193.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	30	渡右	47-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市広沢町間ノ島	47.80+10~47.80+61	50.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	31	渡右	47-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市広沢町間ノ島	47.80-84~47.80+10	94.1	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	32	渡右	47-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市広沢町	47.20-72~47.40-97	217.9	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	33	渡右	46-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市広沢町	46.80-108~46.80-97	10.8	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	34	渡右	46-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市広沢町	46.60-117~46.80-108	224.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	35	渡右	46-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市広沢町	46.40+13~46.60-117	129.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	36	渡右	46-4	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市広沢町	46.40-66~46.40+13	79.2	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	37	渡右	46-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市広沢町	46.00~46.40-66	301.5	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	38	渡右	45-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市広沢町	45.00-5~45.00+51	55.5	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	39	渡右	44-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市広沢町	44.80+5~44.80+93	88.1	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	40	渡右	44-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市広沢町	44.80-66~44.80+5	71.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	41	渡右	44-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市広沢町	44.80-77~44.80-66	10.2	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	42	渡右	44-4	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	群馬県	桐生市広沢町	44.40-61~44.80-77	400.0	堤体の変状が生じるおそれがある箇所 (堤防脆弱性) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	表シート張 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	43	渡右	44-5	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	右	群馬県	桐生市広沢町	44.20+83~44.40-61	77.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所 (堤防脆弱性) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	表シート張 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	44	渡右	44-6	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市広沢町	44.20+77~44.20+83	5.5	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	45	渡右	44-7	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市広沢町	44.20~44.20+77	77.2	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	46	渡右	43-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県	太田市吉沢町	43.40+32~43.80-65	312.9	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	47	渡右	43-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県	太田市吉沢町	43.00+102~43.40	328.9	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面対象番号		河川名	重要度		左右岸別	重要水防箇所			延長(m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省担当出張所	想定される水防工法
					種別	階級		地先名	桁杭位置(K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	48	渡右	42-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 太田市原宿町	42.60+53~43.00-83	284.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	49	渡右	42-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	42.00+13~42.20-74	87.0	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	50	渡右	41-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	群馬県 太田市原宿町	41.80-13~42.00-58	110.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	太田市	太田土木	足利出張所	表シート張	
渡良瀬川河川事務所	51	渡右	41-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	41.60-33~41.60+40	73.1	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	52	渡右	41-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	41.40+89~41.60-106	27.9	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	53	渡右	41-4	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	41.40-12~41.40+73	84.7	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	54	渡右	41-5	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市原宿町	41.20+103~41.40-85	54.7	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	55	渡右	40-1	渡良瀬川	破堤跡	要注	右	群馬県 太田市只上町	40.60-57~40.60-16	41.6	破堤跡 (S22カスリーン台風)	太田市	太田土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	56	渡右	40-2	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	群馬県 太田市只上町	40.00+59~40.20+60	197.5	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	太田市	太田土木	足利出張所	表シート張	
渡良瀬川河川事務所	57	渡右	40-3	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	群馬県 太田市只上町	39.80+80~40.00+20	128.3	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	太田市	太田土木	足利出張所	表シート張	
渡良瀬川河川事務所	58	渡右	39-1	渡良瀬川	破堤跡	要注	右	群馬県 太田市只上町	39.80+19~39.80+61	42.5	破堤跡 (S22カスリーン台風)	太田市	太田土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	59	渡右	39-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 太田市市場町	39.20-28~39.20+57	84.5	旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所		
渡良瀬川河川事務所	60	渡右	39-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 太田市市場町	39.00-70~39.00+105	175.3	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	61	渡右	38-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県 太田市市場町	38.80-55~39.00-70	149.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	62	渡右	38-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	群馬県 太田市市場町	38.40+5~38.80-55	421.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	太田市	太田土木	足利出張所	木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	63	渡右	38-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市中川町	38.00~38.40+5	332.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	64	渡右	36-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	栃木県 足利市借宿町	36.80+155~37.00-54	100.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張	
渡良瀬川河川事務所	65	渡右	36-2	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	栃木県 足利市借宿町	36.80+85~36.80+155	69.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張 木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	66	渡右	36-3	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	右	栃木県 足利市借宿町	36.80+47~36.80+85	38.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張 木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	67	渡右	36-4	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	栃木県 足利市借宿町	36.60+89~36.80+47	167.1	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張 木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	68	渡右	36-5	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘 破堤跡	B B 要注	右	栃木県 足利市借宿町	36.60+47~36.60+89	42.0	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡 (S22カスリーン台風)	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張 木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	69	渡右	36-6	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	栃木県 足利市借宿町	36.40+105~36.60+47	152.6	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張 木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	70	渡右	36-7	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県 足利市借宿町	36.00+81~36.40+105	367.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張	
渡良瀬川河川事務所	71	渡右	35-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	栃木県 足利市借宿町	35.80+56~35.80+87	30.3	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所		

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	桁杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	72	渡右	35-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県	足利市田中町	35.80-70	1箇所 (8.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(渡良瀬橋)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	73	渡右	35-3	渡良瀬川	基礎地盤漏水	B	右	栃木県	足利市田中町	35.40+5~35.60+85	265.2	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	月の輪
渡良瀬川河川事務所	74	渡右	35-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市南町	34.80-44~35.40-82	564.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	75	渡右	35-5	渡良瀬川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県	足利市南町	35.20+68	1箇所 (17.5m)	桁下高が不足する中橋の取付部が、堤防を切込んでいる 堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所(危険箇所(越水):高津戸観測所)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	76	渡右	34-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	栃木県	足利市田中町	34.00~34.60-16	336.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	77	渡右	33-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	栃木県	足利市田中町	33.80+77~34.00	127.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	78	渡右	33-2	渡良瀬川	堤体漏水	B	右	栃木県	足利市田中町	33.80-110~33.80+77	186.6	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	79	渡右	33-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市富富町	33.30+85~33.30+125	39.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 H30渡良瀬川右岸富富地先堤防強化工事(R2.3完)	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	80	渡右	33-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市富富町	33.10~33.30+85	222.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	81	渡右	33-5	渡良瀬川	堤体漏水 水衝洗掘	B B	右	栃木県	足利市富富町	33.00~33.10	74.9	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	82	渡右	32-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市富富町	32.25+123~33.00	620.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	83	渡右	30-1	渡良瀬川	基礎地盤漏水	B	右	栃木県	足利市常見町	30.00~31.00	1008.1	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	月の輪
渡良瀬川河川事務所	84	渡右	29-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	栃木県	足利市梁田町	29.75-47~30.00-80	216.6	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	85	渡右	29-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	栃木県	足利市梁田町	29.25+22~29.50-94	107.8	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	86	渡右	29-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市野田町	28.75+22~29.25-84	357.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	87	渡右	27-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市野田町	27.00~27.00+20	19.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	88	渡右	26-1	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県	足利市野田町	26.00+80	1箇所 (21.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(渡良瀬川大橋)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	89	渡右	25-1	渡良瀬川	新堤防	要注	右	栃木県	足利市野田町	25.50~26.00-55	444.2	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川右岸野田町地先築堤護岸工事(R4.3完)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	90	渡右	25-2	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水)	B	右	栃木県	足利市野田町	25.25-112~25.25+123	235.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満(危険箇所(避難):足利橋観測所) (危険箇所(越水):足利橋観測所)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	91	渡右	25-3	渡良瀬川	新堤防	要注	右	栃木県	足利市野田町	25.00~25.25-112	142.9	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R1 渡良瀬川右岸野田町地先築堤外工事(R2.6完)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	92	渡右	24-1	渡良瀬川	新堤防	要注	右	栃木県	足利市野田町	25.00-6~25.00	5.7	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R1 渡良瀬川右岸野田町地先築堤外工事(R2.6完)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	93	渡右	24-2	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	栃木県	足利市野田町	24.75+11~25.00-6	269.3	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	94	渡右	24-3	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県	足利市野田町	25.00-103	1箇所 (10.75m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(高橋大橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	95	渡右	24-4	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県	館林市上早川町	24.50+153~24.75+11	164.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
				種別	階級		地先名	杆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	96	渡右	22-1	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 館林市下早川田町	23.00-104	1箇所 (9.75m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未滿(渡良瀬大橋)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	97	渡右	22-2	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市下早川田町	21.25+14~22.50+125	1463.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	98	渡右	22-3	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 館林市下早川田町	22.50+75	1箇所 (4.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未滿(東武佐野線)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	99	渡右	21-1	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	右	群馬県 館林市大島町	21.00+74~21.25+14	87.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川右岸大島町地先高水護岸工事 (R4.3完)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	100	渡右	21-2	渡良瀬川	新堤防	要注	右	群馬県 館林市大島町	20.50+130~21.00+74	452.5	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川右岸大島町地先高水護岸工事 (R4.3完)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	101	渡右	20-1	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	右	群馬県 館林市大島町	20.25+16~20.50+130	374.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川右岸大島町地先高水護岸工事 (R4.3完)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	102	渡右	20-2	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市大島町	20.25-38~20.25+16	54.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	103	渡右	20-3	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県 館林市大島町	20.00-48~20.25-38	250.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	104	渡右	19-1	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水)	B	右	群馬県 館林市大島町	19.25-100~20.00-48	802.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿 (危険箇所(越水):足利橋観測所)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	105	渡右	19-2	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	右	群馬県 館林市大島町	19.00+15~19.25-100	135.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川右岸西岡町新田地先高水護岸 工事(R4.3完)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	106	渡右	19-3	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	19.00-111~19.00+15	125.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川右岸西岡町新田地先高水護岸 工事(R4.3完)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	107	渡右	18-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	18.50-87~19.00-111	476.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	108	渡右	18-2	渡良瀬川	越水(溢水) 新堤防	B 要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	18.25-102~18.50-87	256.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿 新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川右岸西岡町新田地先高水護岸 工事(R4.3完)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう シート張り
渡良瀬川河川事務所	109	渡右	18-3	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	17.00+132~18.25-102	1037.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	110	渡右	18-4	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡新田	18.00+112	1箇所 (29.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未滿(東北自動車道)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	111	渡右	16-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字西岡	15.50+115~16.50+121	1004.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	112	渡右	15-1	渡良瀬川	新堤防	要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字除川	14.75+102~15.25	400.7	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川右岸除川地先高水護岸工事 (R4.3完)	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	113	渡右	14-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	右	群馬県 邑楽郡板倉町大字除川	14.25+134~14.50-121	63.8	旧川跡。	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	
渡瀬川河川事務所		岩井分水路(右岸)	33-2	渡良瀬川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 足利市岩井町	33~33.2	228.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿 堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所 (堤防脆弱性)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡瀬川河川事務所		岩井分水路(右岸)	33-3	渡良瀬川	堤体漏水	B	左	栃木県 足利市岩井町	33.2~33.4	37.2	堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所 (堤防脆弱性)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務			
渡瀬川河川事務所		岩井分水路 (右岸)	33-4	渡良瀬川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 足利市岩井町	33.4~33.6	4.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所 (堤防脆弱性)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	1	渡左	53-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市川内町	53.50+120~53.75-96	23.9	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	2	渡左	53-2	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	左	群馬県 桐生市川内町	53.50-31~53.50+120	150.3	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 (危険箇所(越水):高津戸観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	3	渡左	53-3	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市川内町	53.50-31	1箇所 (8.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(相川 橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	4	渡左	53-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市川内町	53.50-51~53.50-31	20.5	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	5	渡左	52-1	渡良瀬川	工作物	B	左	群馬県 桐生市川内町	52.40-27	1箇所 (10m)	鷹の巣排水樋管涵体沿いに漏水の可能性が 有り	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	6	渡左	51-1	渡良瀬川	破堤跡	要注	左	群馬県 桐生市堤町	51.80-5~51.80+28	32.7	破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	7	渡左	51-2	渡良瀬川	工作物	B	左	群馬県 桐生市堤町	51.60+78	1箇所 (10m)	青葉台雨水排水口の涵体沿いに漏水の可能 性有り	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	8	渡左	51-3	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	左	群馬県 桐生市堤町	51.00+118~51.60+18	528.7	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 (危険箇所(越水):高津戸観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	9	渡左	51-4	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市堤町	51.40+64	1箇所 (9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(赤岩 橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	10	渡左	51-5	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県 桐生市堤町	51.40-45	1箇所 (2.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(上毛 線)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	11	渡左	51-6	渡良瀬川	工作物	B	左	群馬県 桐生市堤町	51.20-65	1箇所 (5m)	天津沢第3樋管は涵体沿いに漏水の可能性 有り	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	12	渡左	51-7	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	左	群馬県 桐生市堤町	51.00+77~51.00+118	41.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	13	渡左	51-8	渡良瀬川	越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	左	群馬県 桐生市堤町	51.00~51.00+77	76.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	14	渡左	50-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	群馬県 桐生市堤町	51.00-12~51.00	11.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	15	渡左	50-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市堤町	51.00-23~51.00-12	11.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	16	渡左	50-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市堤町	50.60+47~50.80+52	318.5	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	17	渡左	50-4	渡良瀬川	工作物	B	左	群馬県 桐生市堤町	50.80+47	1箇所 (10m)	老朽化(赤岩用水樋管)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	18	渡左	50-5	渡良瀬川	水衝洗掘 破堤跡	B 要注	左	群馬県 桐生市元宿町	50.60+23~50.60+47	23.5	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	19	渡左	50-6	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市元宿町	50.60+8~50.60+23	15.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	20	渡左	50-7	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	群馬県 桐生市元宿町	50.40+61~50.60+8	135.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	21	渡左	50-8	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市清瀬町	50.40+38~50.40+61	23.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	22	渡左	49-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県 桐生市錦町	48.40+95~49.40+5	875.5	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	桁杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	23	渡左	47-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県	桐生市琴平町	47.80-92~47.80+107	199.1	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	24	渡左	47-2	渡良瀬川	水衝洗掘 破堤跡	B 要注	左	群馬県	桐生市境野町	47.60+77~47.80-92	35.9	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡 (S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	25	渡左	47-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県	桐生市境野町	47.00+86~47.60+77	570.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	26	渡左	46-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	群馬県	桐生市境野町	46.80-103~46.80-77	25.7	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	27	渡左	46-2	渡良瀬川	破堤跡 旧川跡	要注 要注	左	群馬県	桐生市境野町	46.80-128~46.80-103	25.7	破堤跡 (S24キティ台風) 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	28	渡左	46-3	渡良瀬川	破堤跡	要注	左	群馬県	桐生市境野町	46.60+116~46.80-128	12.8	破堤跡 (S24キティ台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	29	渡左	46-4	渡良瀬川	破堤跡	要注	左	群馬県	桐生市境野町	46.40+5~46.40+33	28.0	破堤跡 (S23アイオン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	30	渡左	45-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県	桐生市境野町	45.60+96~45.80+104	281.3	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	31	渡左	45-2	渡良瀬川	水衝洗掘 破堤跡	B 要注	左	群馬県	桐生市境野町	45.60+41~45.60+96	54.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡 (S24キティ台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	32	渡左	45-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県	桐生市境野町	45.00+71~45.60+41	626.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	33	渡左	45-4	渡良瀬川	水衝洗掘 破堤跡	B 要注	左	群馬県	桐生市境野町	45.00+27~45.00+71	43.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 破堤跡 (S23アイオン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	34	渡左	45-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	群馬県	桐生市境野町	44.80+72~45.00+27	124.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	35	渡左	44-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	群馬県	桐生市境野町	44.60+9~44.60+73	64.4	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	36	渡左	44-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	44.40-78~44.60+9	272.9	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	37	渡左	44-3	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小俣町	44.20-36~44.40-78	153.1	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	38	渡左	44-4	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	44.00~44.20-36	142.6	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	39	渡左	43-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	44.00-25~44.00	24.8	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	40	渡左	43-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣南町	43.80+40~43.80+60	19.9	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	41	渡左	43-3	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小俣南町	43.60+56~43.80+40	188.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	42	渡左	43-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市小俣南町	43.60+31~43.60+56	25.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	43	渡左	43-5	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小俣南町	43.40+90~43.60+31	121.1	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	44	渡左	43-6	渡良瀬川	(重点) 基礎地盤漏水 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	左	栃木県	足利市小俣南町	43.20-77~43.40+90	363.3	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。 重点監視区間(基礎漏水)	足利市	安足土木	足利出張所	月の輪 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	45	渡左	43-7	渡良瀬川	基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B	左	栃木県	足利市小俣南町	43.00~43.20-77	116.0	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	月の輪 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	46	渡左	42-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市葉鹿町	42.80+85~43.00	127.1	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面対象番号		河川名	重要度		左右岸別	重要水防箇所			延長(m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省担当出張所	想定される水防工法
					種別	階級		地先名	桁杭位置(K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	47	渡左	42-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市葉鹿町	42.00+77~42.80+85	824.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	48	渡左	42-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市葉鹿南町	41.80+114~42.00+77	202.8	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	49	渡左	41-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市大前町	41.80+96~41.80+114	18.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	50	渡左	41-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市大前町	41.40+10~41.80+96	407.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	51	渡左	41-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市大前町	40.80-77~41.20	413.3	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	52	渡左	40-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市大前町	40.20+76~40.80-77	399.3	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	53	渡左	40-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市鹿島町	40.00+25~40.20+76	251.2	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	54	渡左	39-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市鹿島町	39.20+52~39.40-32	75.4	旧川跡。 工事後3年間経過	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	55	渡左	39-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市鹿島町	39.00+9~39.00+66	56.5	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	56	渡左	38-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市五十部町	38.60+56~38.80-73	95.4	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	57	渡左	38-2	渡良瀬川	新堤防 旧川跡	要注 要注	左	栃木県	足利市五十部町	38.40+25~38.60+56	278.3	新堤防で築造後3年以内の箇所。 旧川跡。 R1渡良瀬川左岸五十部地区外環境整備工事(R2.6完)	足利市	安足土木	足利出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	58	渡左	38-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市五十部町	38.40-119~38.40+25	143.6	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	59	渡左	37-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市五十部町	37.80+9~38.00	81.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	60	渡左	37-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市五十部町	37.40+98~37.80-41	163.6	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	61	渡左	37-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市五十部町	37.00+125~37.40-91	294.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	62	渡左	37-4	渡良瀬川	堤体漏水 基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B B	左	栃木県	足利市今福町	36.80+49~37.00+125	173.0	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張 月の輪 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	63	渡左	36-1	渡良瀬川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市緑町	36.20~36.80+49	647.1	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張 月の輪
渡良瀬川河川事務所	64	渡左	35-1	渡良瀬川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市通	35.80+124~36.00-118	6.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	65	渡左	35-2	渡良瀬川	(重点) 堤体漏水 水衝洗掘	B B	左	栃木県	足利市通	35.80-118~35.80+124	242.3	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 重点監視区間(法崩れ・すべり)	足利市	安足土木	足利出張所	表シート張 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	66	渡左	35-3	渡良瀬川	工作物	B	左	栃木県	足利市通	35.80+62	1箇所(10m)	老朽化(繊維樋管)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	67	渡左	35-4	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市通	35.80-77	1箇所(8.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(渡良瀬橋)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	68	渡左	35-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市通	35.20+104~35.80-118	429.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	69	渡左	35-6	渡良瀬川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市通	35.40-88	1箇所(17.5m)	桁下高が不足する中橋の取付部が、堤防を切込んでいる 堤体の変状が生じる可能性が特に高い箇所(危険箇所(避難):高津戸観測所) (危険箇所(越水):高津戸観測所)	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	杆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務				
渡良瀬川河川事務所	70	渡左	34-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市岩井町	34.00+131~34.00+161	30.1	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	71	渡左	34-2	渡良瀬川	破堤跡	要注	左	栃木県	足利市岩井町	34.00+30~34.00+90	60.3	破堤跡 (S22カスリーン台風)	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	72	渡左	32-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市岩井町	32.90+27~33.00-36	115.8	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	73	渡左	32-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市岩井町	32.50-43~32.50+97	139.5	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	74	渡左	32-3	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市岩井町	32.25+86~32.25+147	61.2	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	75	渡左	31-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市岩井町	31.25-115~31.25+28	143.5	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	76	渡左	31-2	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市常見町	31.00+110~31.25-115	36.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	77	渡左	31-3	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市常見町	31.00-66~31.00+110	175.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	78	渡左	30-1	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市常見町	31.00-132~31.00-66	65.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	79	渡左	30-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市常見町	30.50+140~31.00-132	306.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	80	渡左	29-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市川崎町	29.75-59~29.75+96	154.7	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	81	渡左	28-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市川崎町	28.50-140~28.50-44	95.6	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	82	渡左	28-2	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市川崎町	28.25-52~28.25+147	198.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	83	渡左	28-3	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市川崎町	28.25-114~28.25-52	62.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	84	渡左	28-4	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市奥戸町	28.25-207~28.25-114	92.9	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	85	渡左	28-5	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市奥戸町	28.00+227~28.25-207	82.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	86	渡左	28-6	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市奥戸町	28.00+72~28.00+227	154.9	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	87	渡左	26-1	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市高橋町	26.75~26.75+112	111.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満(危険箇所(越水):足利橋観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	88	渡左	26-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	佐野市高橋町	26.00+139	1箇所 (21.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(渡良瀬川大橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	89	渡左	25-1	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	佐野市高橋町	25.50+72~26.00-66	279.6	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R2 渡良瀬川左岸高橋町地先築堤護岸工事(R4.3完)	佐野市	安足土木	足利出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	90	渡左	25-2	渡良瀬川	堤体漏水	B	左	栃木県	佐野市高橋町	25.25+111~25.50+72	183.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	佐野市	安足土木	足利出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	91	渡左	25-3	渡良瀬川	(重点)		左	栃木県	佐野市高橋町	25.25		(危険箇所(避難):足利橋観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	92	渡左	25-4	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市高橋町	25.00~25.00+123	122.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	93	渡左	24-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市高橋町	24.75+121~25.00	121.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	94	渡左	24-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	佐野市高橋町	24.75+87	1箇所 (10.75m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(高橋大橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	95	渡左	24-3	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	佐野市高橋町	24.75-101~24.75+34	135.2	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R3 渡良瀬川左岸高橋町地先築堤工事(R4.3完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左 右 岸 別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地 先 名	秆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	96	渡左	24-4	渡良瀬川	水衝洗掘 新堤防	B 要注	左	栃木県	佐野市高橋町	24.50~24.75-101	128.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。新堤防で築造後3年以内の箇所。R3 渡良瀬川左岸高橋町地先築堤工事(R4.3完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	木流し・表シート張 シート張り
渡良瀬川河川事務所	97	渡左	24-5	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	佐野市高橋町	24.25+21~24.50	192.2	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	98	渡左	24-6	渡良瀬川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	栃木県	佐野市高橋町	24.25-17~24.25+21	38.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。旧川跡。	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	99	渡左	24-7	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県	佐野市高橋町	24.25-47~24.25-17	29.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	100	渡左	23-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	群馬県	館林市下早川町	23.25+59~23.25+96	36.9	旧川跡。	館林市	館林土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	101	渡左	23-2	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	群馬県	館林市下早川町	23.00+53~23.00+188	135.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	102	渡左	23-3	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県	館林市下早川町	23.00+75	1箇所 (9.75m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未滿(渡良瀬大橋)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	103	渡左	23-4	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市下羽田町	23.00+38~23.00+53	15.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	104	渡左	23-5	渡良瀬川	(重点) 工作物	A	左	栃木県	佐野市下羽田町	23.00+45	1箇所 (15m)	応急対策が必要な施設(才川樋管)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	105	渡左	23-6	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市船津川町	22.75+114~23.00+38	151.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿(危険箇所(越水):足利橋観測所)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	106	渡左	22-1	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	佐野市船津川町	22.75-46	1箇所 (4.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未滿(東武佐野線)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	107	渡左	21-1	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	佐野市船津川町	20.75~21.75	1027.1	新堤防で築造後3年以内の箇所。R2 渡良瀬川左岸船津川町地先高水護岸工事(R4.3完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	108	渡左	20-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市船津川町	19.75+151~20.25+104	479.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	109	渡左	19-1	渡良瀬川	(重点) 工作物	A	左	栃木県	佐野市船津川町	19.50+165	1箇所 (10m)	応急対策が必要な施設(菊沢樋管)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	110	渡左	19-2	渡良瀬川	(重点) 越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市船津川町	19.00-78~19.50+76	631.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿(危険箇所(越水):足利橋観測所)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	111	渡左	18-1	渡良瀬川	越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市馬門町	17.75-22~19.00-78	1123.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	112	渡左	18-2	渡良瀬川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	佐野市高山町	18.00+79	1箇所 (29.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未滿(東北自動車道)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	113	渡左	17-1	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	佐野市高山町	17.25-94~17.75-22	416.8	新堤防で築造後3年以内の箇所。R3 渡良瀬川左岸高山町地先堤防強化工事(R4.3完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	114	渡左	17-2	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	佐野市高山町	16.75-16~17.25-94	387.9	新堤防で築造後3年以内の箇所。R1 渡良瀬川左岸高山町地先堤防強化工事(R3.3完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	115	渡左	16-1	渡良瀬川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県	佐野市高山町	16.50+130~16.75-16	114.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	116	渡左	16-2	渡良瀬川	堤体漏水	B	左	栃木県	佐野市高山町	16.50+109~16.50+130	20.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	117	渡左	16-3	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	佐野市高山町	16.50-163~16.50+109	272.1	新堤防で築造後3年以内の箇所。R1 渡良瀬川左岸高山町地先堤防強化工事(R3.3完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	118	渡左	16-4	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県	栃木市藤岡町都賀	16.25-34~16.50-163	258.7	新堤防で築造後3年以内の箇所。R1 渡良瀬川左岸高山町地先堤防強化工事(R3.3完)	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	シート張り

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左 右 岸 別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種 別	階級		地 先 名	秆杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務		
渡良瀬川河川事務所	119	渡左	16-5	渡良瀬川	新堤防	要注	左	栃木県 栃木市藤岡町都賀	16.25-135~16.25-34	101.0	新堤防で築造後3年以内の箇所。 H30渡良瀬川左岸高取地先堤防強化工事 (R2.3完)	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	120	渡左	16-6	渡良瀬川	堤体漏水	B	左	栃木県 栃木市藤岡町都賀	16.00~16.25-135	286.3	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	121	渡左	15-1	渡良瀬川	水衝洗掘	B	左	栃木県 栃木市藤岡町甲	14.75+65~15.25-40	395.8	高水数幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	122	渡左	14-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 栃木市藤岡町藤岡	14.00+65~14.25+15	129.5	旧川跡。	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	123	渡左	13-1	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	群馬県 邑楽郡板倉町大字除川	13.75+36~13.75+102	66.4	旧川跡。	板倉町	館林土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	124	渡左	13-2	渡良瀬川	旧川跡	要注	左	栃木県 栃木市藤岡町藤岡	13.75-80~13.75+36	115.7	旧川跡。	栃木市	栃木土木	佐野河川出張所	

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	4,359	19 箇所	2,180	8 箇所	2,179	11 箇所
総合評価 A	1,821	11 箇所	1,142	6 箇所	679	5 箇所
越水(溢水) A	1,821	9 箇所	1,142	6 箇所	679	3 箇所
堤体漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
基礎地盤漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 A		4 箇所		1 箇所		3 箇所
総合評価 B	31,149	163 箇所	16,896	79 箇所	14,253	84 箇所
越水(溢水) B	10,288	48 箇所	6,931	25 箇所	3,357	23 箇所
堤体漏水 B	4,154	26 箇所	2,210	15 箇所	1,944	11 箇所
基礎地盤漏水 B	2,573	6 箇所	1,273	2 箇所	1,299	4 箇所
水衝洗掘 B	19,604	107 箇所	9,092	53 箇所	10,512	54 箇所
工作物 B		22 箇所		8 箇所		14 箇所
総合評価 要注	10,186	65 箇所	4,224	28 箇所	5,963	37 箇所
新堤防	5,709	20 箇所	2,424	10 箇所	3,285	10 箇所
破堤跡	532	14 箇所	215	5 箇所	317	9 箇所
旧川跡	9,547	76 箇所	4,020	36 箇所	5,527	40 箇所

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	軒杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	1	桐右	10-1	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県	桐生市天神町	10.60-49~10.60+99	147.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	2	桐右	10-2	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市菱町	10.40+98~10.60-49	48.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	3	桐右	10-3	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市菱町	10.40-99~10.40+98	196.4	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	4	桐右	10-4	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市天神町	10.20+93~10.40-99	4.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	5	桐右	10-5	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県	桐生市天神町	10.20-91~10.20+93	184.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	6	桐右	10-6	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	桐生市天神町	10.20+59	1箇所 (10m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(中里橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	7	桐右	10-7	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市東久方町	10.00+96~10.20-91	4.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	8	桐右	10-8	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市東久方町	10.00+58~10.00+96	38.4	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	9	桐右	9-1	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市東久方町	9.80-86~9.80-30	55.6	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	10	桐右	9-2	桐生川	破堤跡	要注	右	群馬県	桐生市東	9.40-37~9.40-11	26.6	破堤跡(S13台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	11	桐右	9-3	桐生川	破堤跡	要注	右	群馬県	桐生市東	9.20+3~9.20+17	14.5	破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	12	桐右	8-1	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	桐生市東	8.80+51	1箇所 (10.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(幸福橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	13	桐右	8-2	桐生川	破堤跡	要注	右	群馬県	桐生市東	8.40+54~8.40+74	19.7	破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	14	桐右	8-3	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県	桐生市東	8.20-80~8.40-50	142.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	15	桐右	8-4	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	桐生市東	8.20-80	1箇所 (6m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(広見橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	16	桐右	8-5	桐生川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市東	8.00-87~8.20-80	230.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。 (危険箇所(避難):広見橋観測所) (危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	17	桐右	7-1	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	B B 要注	右	群馬県	桐生市東	7.60+65~8.00-87	210.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	18	桐右	7-2	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	B B 要注	右	群馬県	桐生市東	7.60+56~7.60+65	9.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	19	桐右	7-3	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	右	群馬県	桐生市東	7.40+62~7.60+56	115.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	20	桐右	7-4	桐生川	(重点) 堤体漏水	B	右	群馬県	桐生市東	7.40~7.40+62	62.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 重点監視区間(法崩れ・すべり)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	21	桐右	7-5	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	桐生市東	7.40-11	1箇所 (11m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(八坂橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	22	桐右	7-6	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市東	7.40-58~7.40-29	29.2	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	23	桐右	7-7	桐生川	破堤跡	要注	右	群馬県	桐生市東	7.20+65~7.40-62	25.6	破堤跡(S22カスリーン台風)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	24	桐右	7-8	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市東	7.00+57~7.00+105	47.8	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面対象番号		河川名	重要度		左右岸別	重要水防箇所			延長(m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省担当出張所	想定される水防工法
					種別	階級		地先名	秆杭位置(K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	25	桐右	7-9	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市東	7.00-81~7.00+57	137.9	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	26	桐右	6-1	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市浜松町	6.60+73~7.00-81	217.9	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	27	桐右	6-2	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市境野町	6.60+35~6.60+73	37.7	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	28	桐右	6-3	桐生川	水衝洗掘 陸こう	B 要注	右	群馬県	桐生市境野町	6.60-11~6.60+35	46.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所。 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 余裕高の範囲にボックスがある区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	29	桐右	6-4	桐生川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県	桐生市境野町	6.60-17~6.60-11	5.6	余裕高の範囲にボックスがある区間である。 現況堤防断面、天端幅が計画以下で1/2以上。 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	30	桐右	6-5	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市境野町	6.20+105~6.60-17	312.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	31	桐右	6-6	桐生川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県	桐生市境野町	6.00+76~6.20+105	222.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	32	桐右	6-7	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	桐生市境野町	6.20-54	1箇所 (8m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(宿の鳥橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	33	桐右	6-8	桐生川	越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	B B 要注	右	群馬県	桐生市境野町	6.00~6.00+76	75.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	34	桐右	5-1	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市境野町	6.00-46~6.00	46.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	35	桐右	5-2	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県	桐生市境野町	5.80+36~6.00-46	87.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	36	桐右	5-3	桐生川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	群馬県	桐生市境野町	5.80-69~5.80+36	105.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	37	桐右	5-4	桐生川	越水(溢水)	B	右	群馬県	桐生市境野町	5.80-99~5.80-69	29.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	38	桐右	5-5	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市境野町	5.40-88~5.40+77	164.7	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	39	桐右	5-6	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市境野町	5.00+49~5.20+22	78.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	40	桐右	4-1	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市境野町	4.80+11~4.80+28	17.5	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	41	桐右	4-2	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市境野町	4.80-32~4.80+11	42.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	42	桐右	4-3	桐生川	水衝洗掘	B	右	群馬県	桐生市境野町	4.80-102~4.80-32	69.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	43	桐右	4-4	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市境野町	4.00+39~4.80-102	653.1	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	44	桐右	4-5	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	桐生市境野町	4.60+66	1箇所 (13.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(两国橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	45	桐右	4-6	桐生川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市小俣町	4.00~4.00+39	38.6	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	46	桐右	3-1	桐生川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市小俣町	3.60-72~3.80-56	160.4	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	47	桐右	3-2	桐生川	旧川跡	要注	右	栃木県	足利市小俣町	3.20+104~3.40-63	42.0	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	秆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務				
渡良瀬川河川事務所	48	桐右	3-3	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県	足利市小俣町	3.40-89	1箇所 (1.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(桐生川橋梁(両毛線))	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	49	桐右	3-4	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	栃木県	足利市小俣町	3.20+15~3.20+62	46.9	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	50	桐右	3-5	桐生川	旧川跡	要注	右	栃木県	足利市小俣町	3.20~3.20+15	14.7	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	51	桐右	3-6	桐生川	旧川跡	要注	右	群馬県	桐生市境野町	3.00-96~3.20	295.2	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	52	桐右	2-1	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	桐生市境野町	3.00-68	1箇所 (6.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(境橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	53	桐右	2-2	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	群馬県	桐生市境野町	2.60+15~3.00-96	302.2	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	54	桐右	2-3	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	右	栃木県	足利市小俣町	2.60+4~2.60+15	11.1	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	55	桐右	2-4	桐生川	旧川跡	要注	右	栃木県	足利市小俣町	1.60~2.60+4	916.1	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	1	桐左	10-1	桐生川	(重点) 越水(溢水)	B	左	群馬県	桐生市菱町	10.40+72~10.60+92	158.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満(危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	2	桐左	10-2	桐生川	越水(溢水)	B	左	群馬県	桐生市菱町	10.00+93~10.40-95	181.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	3	桐左	10-3	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県	桐生市菱町	10.20+60	1箇所 (10m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(中里橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	4	桐左	8-1	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県	桐生市菱町	8.80+18~8.80+97	78.9	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	5	桐左	8-2	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県	桐生市菱町	8.80+44	1箇所 (10.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(幸橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	6	桐左	8-3	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県	桐生市菱町	8.40+41~8.40+92	51.3	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	7	桐左	8-4	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県	桐生市菱町	8.40-87~8.40-56	30.5	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	8	桐左	8-5	桐生川	(重点)		左	群馬県	桐生市菱町	8.2		(危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	9	桐左	8-6	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県	桐生市菱町	8.20-42	1箇所 (6m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(広見橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	10	桐左	7-1	桐生川	越水(溢水)	B	左	群馬県	桐生市菱町	7.80~8.00-83	94.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	11	桐左	7-2	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県	桐生市菱町	7.40+29	1箇所 (11m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(八坂橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	12	桐左	7-3	桐生川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	群馬県	桐生市菱町	7.00+65~7.40-12	170.3	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	表シート張 月の輪
渡良瀬川河川事務所	13	桐左	7-4	桐生川	越水(溢水)	B	左	群馬県	桐生市菱町	6.80~7.00+65	244.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	14	桐左	6-1	桐生川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	左	群馬県	桐生市菱町	6.00+47~6.80	613.8	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 (危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	15	桐左	6-2	桐生川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘 旧川跡	A B 要注	左	群馬県	桐生市菱町	6.00~6.00+47	47.0	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。 (危険箇所(越水):広見橋観測所)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	桁杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	16	桐左	5-1	桐生川	(重点) 越水(溢水) 水衝洗掘	A B	左	群馬県	桐生市菱町	6.00-98~6.00	97.9	計算水位が現況堤防高以上 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	17	桐左	5-2	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	群馬県	桐生市菱町	6.00-73	1箇所 (8m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(宿の 島橋)	桐生市	桐生土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	18	桐左	4-1	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県	桐生市菱町	4.60+57~4.80+17	125.5	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	19	桐左	4-2	桐生川	水衝洗掘 旧川跡	B 要注	左	群馬県	桐生市菱町	4.20+47~4.60+57	309.8	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	20	桐左	4-3	桐生川	旧川跡	要注	左	群馬県	桐生市菱町	4.00+23~4.20+47	214.0	旧川跡。	桐生市	桐生土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	21	桐左	4-4	桐生川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	4.00-54~4.00+23	77.6	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	22	桐左	3-1	桐生川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	3.60+68~3.80-26	115.4	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	23	桐左	3-2	桐生川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市小俣町	3.40-39~3.60+26	266.3	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	24	桐左	3-3	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水 基礎地盤漏水	B B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.20+51~3.20+99	48.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう 表シート張 月の輪
渡良瀬川河川事務所	25	桐左	3-4	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.20+80	1箇所 (1.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(桐生 川橋梁(両毛線))	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	26	桐左	3-5	桐生川	越水(溢水) 堤体漏水 基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.20+41~3.20+51	9.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう 表シート張 月の輪 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	27	桐左	3-6	桐生川	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.00+104~3.20+41	150.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。 重点監視区間(基礎漏水)	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう 表シート張 月の輪 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	28	桐左	3-7	桐生川	堤体漏水 基礎地盤漏水 水衝洗掘	B B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.00~3.00+104	104.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安 全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	表シート張 月の輪 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	29	桐左	2-1	桐生川	水衝洗掘	B	左	栃木県	足利市小俣町	3.00-21~3.00	21.3	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸 浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	桐生出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	30	桐左	2-2	桐生川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市小俣町	3.00-34	1箇所 (6.4m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(境橋)	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	31	桐左	2-3	桐生川	(重点) 越水(溢水)	B	左	栃木県	足利市小俣町	2.60-14~2.80-96	105.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 (危険箇所(越水):広見橋観測所)	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	32	桐左	2-4	桐生川	越水(溢水)	B	左	栃木県	足利市小俣町	2.60-60~2.60-14	46.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	33	桐左	2-5	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小俣町	2.40+71~2.60-60	10.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	34	桐左	2-6	桐生川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	2.20+73~2.40+71	142.2	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	
渡良瀬川河川事務所	35	桐左	2-7	桐生川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小俣町	2.20+31~2.20+73	42.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	桁杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務				
渡良瀬川河川事務所	36	桐左	2-8	桐生川	越水(溢水)	B	左	栃木県	足利市小俣町	2.00+87~2.20+31	112.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿	足利市	安足土木	桐生出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	37	桐左	1-1	桐生川	旧川跡	要注	左	栃木県	足利市小俣町	1.60~1.80-33	156.2	旧川跡。	足利市	安足土木	桐生出張所	

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	1,470	9箇所	292	2箇所	1,177	7箇所
総合評価 A	759	3箇所	0	0箇所	759	3箇所
越水(溢水) A	759	3箇所	0	0箇所	759	3箇所
堤体漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
基礎地盤漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
水衝洗掘 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 A		0箇所		0箇所		0箇所
総合評価 B	5,983	65箇所	3,906	41箇所	2,076	24箇所
越水(溢水) B	2,876	44箇所	1,672	25箇所	1,204	19箇所
堤体漏水 B	880	9箇所	397	4箇所	483	5箇所
基礎地盤漏水 B	483	5箇所	0	0箇所	483	5箇所
水衝洗掘 B	4,203	28箇所	2,582	19箇所	1,621	9箇所
工作物 B		15箇所		8箇所		7箇所
総合評価 要注	2,878	23箇所	1,887	14箇所	992	9箇所
新堤防	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
破堤跡	86	4箇所	86	4箇所	0	0箇所
旧川跡	5,064	38箇所	3,662	25箇所	1,402	13箇所

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左 右 岸 別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地 先 名	杆 杭 位 置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	1	旗右	11-1	旗川	水衝洗掘	B	右	栃木県	足利市寺岡町	N0.11-58~N0.11	58.0	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	2	旗右	11-2	旗川	水衝洗掘	B	右	栃木県	佐野市村上町	N0.10+89~N0.11-58	31.3	高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	佐野市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	3	旗右	10-1	旗川	越水(溢水) 水衝洗掘	B B	右	栃木県	佐野市村上町	N0.10+27~N0.10+89	62.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 高水敷幅が不足しており、より強固な河岸浸食防止施設の必要な区間である。	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう 木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	4	旗右	10-2	旗川	(重点) 越水(溢水)	B	右	栃木県	佐野市村上町	N0.10-41~N0.10+27	67.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 (危険箇所(避難):高田橋観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	5	旗右	10-3	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	佐野市村上町	N0.6-49~N0.10-41	821.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	6	旗右	9-1	旗川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県	佐野市村上町	N0.9+56	1箇所 (5.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(高田橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	7	旗右	7-1	旗川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県	佐野市村上町	N0.7+103	1箇所 (10m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(村上大橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	8	旗右	6-1	旗川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県	佐野市村上町	N0.5+58~N0.6-49	87.5	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(越水):高田橋観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	9	旗右	5-1	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	佐野市村上町	N0.5-24~N0.5+58	82.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	10	旗右	5-2	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	足利市奥戸町	N0.3+99~N0.5-24	267.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	11	旗右	2-1	旗川	旧川跡	要注	右	栃木県	足利市奥戸町	N0.2+30~N0.2+59	29.7	旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	12	旗右	2-2	旗川	破堤跡 旧川跡	要注 要注	右	栃木県	足利市奥戸町	N0.2-15~N0.2+30	44.8	破堤跡(S22カスリーン台風) 旧川跡。	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	13	旗右	2-3	旗川	破堤跡	要注	右	栃木県	足利市奥戸町	N0.2-45~N0.2-15	30.1	破堤跡(S22カスリーン台風)	足利市	安足土木	足利出張所	
渡良瀬川河川事務所	14	旗右	2-4	旗川	(重点) 水衝洗掘	A	右	栃木県	足利市奥戸町	N0.1+55~N0.2-85	60.2	堤防護岸の根固めが洗われ、一部破損しており、その対策が未施工の箇所である(H19被災) 重点監視区間(水衝洗掘)	足利市	安足土木	足利出張所	木流し・表シート張
渡良瀬川河川事務所	15	旗右	1-1	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	足利市奥戸町	N0.1-75~N0.1-50	24.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	16	旗右	1-2	旗川	越水(溢水)	B	右	栃木県	佐野市高橋町	N0.0+50~N0.1-75	74.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	17	旗左	11-1	旗川	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県	佐野市村上町	N0.9-91~N0.11	432.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) (危険箇所(避難):高田橋観測所) (危険箇所(越水):高田橋観測所)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	2	旗左	9-1	旗川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	佐野市村上町	N0.9+73	1箇所 (5.5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(高田橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	3	旗左	9-2	旗川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県	佐野市村上町	N0.7+104~N0.9-91	266.3	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	4	旗左	8-1	旗川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	佐野市村上町	N0.8-93	1箇所 (10m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(村上大橋)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	5	旗左	7-1	旗川	越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市村上町	N0.7+93~N0.7+104	11.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左 右 岸 別	重要水防箇所		延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地 先 名	杆杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務		
渡良瀬川河川事務所	6	旗左	7-2	旗川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県 佐野市村上町	NO. 7+49~NO. 7+93	43.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満旧川跡。	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	7	旗左	7-3	旗川	越水(溢水)	B	左	栃木県 佐野市村上町	NO. 6+96~NO. 7+49	166.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	8	旗左	6-1	旗川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 佐野市村上町	NO. 6-64~NO. 6+96	159.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	9	旗左	6-2	旗川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 佐野市村上町	NO. 5-65~NO. 6-64	171.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	10	旗左	5-1	旗川	越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	B B 要注	左	栃木県 佐野市高橋町	NO. 4+70~NO. 5-65	51.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 旧川跡。	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	11	旗左	4-1	旗川	越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	B B 要注	左	栃木県 佐野市高橋町	NO. 4+46~NO. 4+70	23.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	12	旗左	4-2	旗川	越水(溢水) 堤体漏水	B B	左	栃木県 佐野市高橋町	NO. 3+89~NO. 4+46	135.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	13	旗左	3-1	旗川	堤体漏水	B	左	栃木県 佐野市高橋町	NO. 0~NO. 3+89	579.8	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	佐野市	安足土木	足利出張所	表シート張

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	647	4 箇所	215	3 箇所	432	1 箇所
総合評価 A	148	2 箇所	148	2 箇所	0	0 箇所
越水(溢水) A	87	1 箇所	87	1 箇所	0	0 箇所
堤体漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
基礎地盤漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 A	60	1 箇所	60	1 箇所	0	0 箇所
工作物 A		0 箇所		0 箇所		0 箇所
総合評価 B	3,531	24 箇所	1,489	11 箇所	2,041	13 箇所
越水(溢水) B	2,862	21 箇所	1,400	9 箇所	1,462	12 箇所
堤体漏水 B	1,820	8 箇所	0	0 箇所	1,820	8 箇所
基礎地盤漏水 B	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 B	152	3 箇所	152	3 箇所	0	0 箇所
工作物 B		4 箇所		2 箇所		2 箇所
総合評価 要注	105	3 箇所	105	3 箇所	0	0 箇所
新堤防	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
破堤跡	75	2 箇所	75	2 箇所	0	0 箇所
旧川跡	193	5 箇所	75	2 箇所	118	3 箇所

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地先名	杆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務所				
渡良瀬川河川事務所	1	秋右	11-1	秋山川	(重点)		右	栃木県	佐野市大古屋町	NO. 11		(危険箇所(避難):伊保内新橋観測所) (危険箇所(越水):伊保内新橋観測所)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	2	秋右	11-2	秋山川	新堤防	要注	右	栃木県	佐野市大古屋町	NO. 10-35~NO. 11-51	118.6	新堤防で築造後3年以内の箇所。 H30秋山川大古屋地先護岸外工事(R2.5完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	3	秋右	5-1	秋山川	工作物 越水(溢水)	B B	右	栃木県	佐野市大古屋町	NO. 5+35	1箇所 (7.7m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(伊保内新橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	4	秋右	1-1	秋山川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県	佐野市船津川町	NO. 1-44	1箇所 (3.9m)	計算水位が桁下高以上(船津川橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	1	秋左	11-1	秋山川	(重点)		左	栃木県	佐野市榎下町	NO. 11		(危険箇所(避難):伊保内新橋観測所) (危険箇所(越水):伊保内新橋観測所)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	2	秋左	11-2	秋山川	新堤防	要注	左	栃木県	佐野市大古屋町	NO. 10+15~NO. 11-17	127.6	新堤防で築造後3年以内の箇所。 R1秋山川護岸工事(R3.3完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	3	秋左	10-1	秋山川	新堤防	要注	左	栃木県	佐野市伊保内町	NO. 10-5~NO. 10+15	20.5	新堤防で築造後3年以内の箇所。 H30秋山川大古屋地先護岸外工事(R2.5完) R1秋山川護岸工事(R3.3完)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	シート張り
渡良瀬川河川事務所	4	秋左	5-1	秋山川	工作物 越水(溢水)	B B	左	栃木県	佐野市伊保内町	NO. 5+36	1箇所 (7.7m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(伊保内新橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	5	秋左	2-1	秋山川	旧川跡	要注	左	栃木県	佐野市大古屋町	NO. 2-50~NO. 2+69	119.6	旧川跡。	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	6	秋左	1-1	秋山川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	佐野市船津川町	NO. 1-56	1箇所 (3.9m)	計算水位が桁下高以上(船津川橋)	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	7	秋左	0-1	秋山川	越水(溢水)	B	左	栃木県	佐野市船津川町	NO. 0~NO. 0+112	111.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	佐野市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	0	4箇所	0	2箇所	0	2箇所
総合評価 A	0	2箇所	0	1箇所	0	1箇所
越水(溢水) A	0	2箇所	0	1箇所	0	1箇所
堤体漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
基礎地盤漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
水衝洗掘 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 A		2箇所		1箇所		1箇所
総合評価 B	112	3箇所	0	1箇所	112	2箇所
越水(溢水) B	112	3箇所	0	1箇所	112	2箇所
堤体漏水 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
基礎地盤漏水 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
水衝洗掘 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 B		2箇所		1箇所		1箇所
総合評価 要注	386	4箇所	119	1箇所	268	3箇所
新堤防	267	3箇所	119	1箇所	148	2箇所
破堤跡	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
旧川跡	120	1箇所	0	0箇所	120	1箇所

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
				種別	階級		地先名	料杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	1	矢右 42-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.42+40	1箇所 (5.5m)	計算水位が桁下高以上(旭橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	2	矢右 42-2	矢場川	越水(溢水)	B	右	栃木県 足利市県町	N0.41-10~N0.42-104	113.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	3	矢右 41-1	矢場川	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.40+101~N0.41-10	91.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	4	矢右 40-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.39-101~N0.40+101	394.3	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	5	矢右 40-2	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.40+25	1箇所 (5.5m)	計算水位が桁下高以上(東下河原橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	6	矢右 39-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県 足利市羽刈町	N0.38+85~N0.39-101	26.6	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	7	矢右 38-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県 足利市羽刈町	N0.36+60~N0.38+85	425.4	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(越水):足森橋観測所)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	8	矢右 38-2	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県 足利市羽刈町	N0.38+53	1箇所 (7.5m)	計算水位が桁下高以上(押切橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	9	矢右 37-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県 足利市羽刈町	N0.37+55	1箇所 (5m)	計算水位が桁下高以上(金塚橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	10	矢右 37-2	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県 足利市羽刈町	N0.37-75	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(下ノ宮橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	11	矢右 36-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県 足利市羽刈町	N0.36-15~N0.36+60	75.5	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	12	矢右 36-2	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県 足利市羽刈町	N0.36-31~N0.36-15	15.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	13	矢右 36-3	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	N0.35+82~N0.36-31	92.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	14	矢右 35-1	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	N0.34-30~N0.35+82	304.0	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。 (危険箇所(越水):足森橋観測所)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	15	矢右 34-1	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県 足利市小曾根町	N0.34-113~N0.34-30	83.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	16	矢右 34-2	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	N0.33+27~N0.34-113	83.5	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	17	矢右 33-1	矢場川	越水(溢水)	B	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	N0.31+5~N0.33	340.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	18	矢右 31-1	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	N0.31-33~N0.31+5	38.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	19	矢右 31-2	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	栃木県 足利市小曾根町	N0.30+110~N0.31-33	77.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう	
渡良瀬川河川事務所	20	矢右 30-1	矢場川	旧川跡	要注	右	栃木県 足利市小曾根町	N0.30+77~N0.30+110	33.1	旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所		
渡良瀬川河川事務所	21	矢右 30-2	矢場川	旧川跡	要注	右	群馬県 邑楽郡邑楽町大字中野	N0.30+11~N0.30+77	66.2	旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所		

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地	先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	22	矢右	30-3	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.30+11	1箇所 (11m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(小曾根橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	23	矢右	30-4	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.29~N0.30-108	107.7	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	24	矢右	29-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県	足利市小曾根町	N0.29-44~N0.29	44.1	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	25	矢右	29-2	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.29-98~N0.29-44	53.9	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	26	矢右	29-3	矢場川	越水(溢水)	B	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.25-127~N0.29-98	774.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	27	矢右	26-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.26+81	1箇所 (6.5m)	計算水位が桁下高以上(平成橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	28	矢右	23-1	矢場川	旧川跡	要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.22+90~N0.23+29	118.5	旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	29	矢右	23-2	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.23-18	1箇所 (5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(鶯橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	30	矢右	22-1	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.21+92~N0.22+90	181.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	31	矢右	21-1	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.21+96	1箇所 (3.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(矢場川橋梁)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	32	矢右	21-2	矢場川	旧川跡	要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.21-71~N0.21+92	163.0	旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	
渡良瀬川河川事務所	33	矢右	21-3	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.21-58	1箇所 (11m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(八幡橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	34	矢右	18-1	矢場川	工作物 越水(溢水)	B B	右	群馬県	館林市日向町	N0.18+85	1箇所 (8.2m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(足森橋)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	35	矢右	16-1	矢場川	越水(溢水)	B	右	群馬県	館林市日向町	N0.15+92~N0.16+66	157.3	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	36	矢右	2-1	矢場川	堤体漏水	B	右	群馬県	館林市傍示塚町	N0.1+107~N0.2-21	85.5	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	1	矢左	42-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市県町	N0.42+14	1箇所 (5.5m)	計算水位が桁下高以上(旭橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	2	矢左	42-2	矢場川	越水(溢水)	B	左	栃木県	足利市県町	N0.41-94~N0.42+14	299.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	3	矢左	41-1	矢場川	越水(溢水)	B	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.40+104~N0.41-94	10.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	4	矢左	40-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.40+26	1箇所 (5.5m)	計算水位が桁下高以上(東下河原橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	5	矢左	40-2	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.39-83~N0.40-95	177.7	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	6	矢左	39-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.37+50~N0.39-83	274.3	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(越水):足森橋観測所)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	7	矢左	38-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.38+52	1箇所 (7.5m)	計算水位が桁下高以上(押切橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地	先	名			料杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務
渡良瀬川河川事務所	8	矢左	37-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.37+50	1箇所 (5m)	計算水位が桁下高以上(金塚橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	9	矢左	37-2	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.36+101~N0.37+50	150.5	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(避難):足森橋観測所) (危険箇所(越水):足森橋観測所)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	10	矢左	37-3	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.37-75	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(下ノ宮橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	11	矢左	36-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.36+80~N0.36+101	20.1	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	12	矢左	36-2	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.35+86~N0.36+80	209.4	計算水位が現況堤防高以上 (危険箇所(避難):足森橋観測所)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	13	矢左	35-1	矢場川	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.35+5~N0.35+86	80.6	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	14	矢左	35-2	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.35-15~N0.35+5	20.8	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	15	矢左	35-3	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.35-57~N0.35-15	41.2	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	16	矢左	35-4	矢場川	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.33~N0.35-57	332.8	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	17	矢左	33-1	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.31+98~N0.33	236.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	18	矢左	31-1	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.31+59~N0.31+98	39.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	19	矢左	31-2	矢場川	越水(溢水) 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.31-70~N0.31+59	128.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	20	矢左	31-3	矢場川	越水(溢水)	B	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.30+101~N0.31-70	30.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	21	矢左	30-1	矢場川	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.30+25	1箇所 (11m)	計算水位が桁下高以上(小曾根橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	22	矢左	30-2	矢場川	基礎地盤漏水	B	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.30-80~N0.30	79.6	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	月の輪
渡良瀬川河川事務所	23	矢左	30-3	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.29+40~N0.30-80	39.8	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	24	矢左	29-1	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.29-47~N0.29+40	87.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	25	矢左	29-2	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水 旧川跡	B B 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.29-95~N0.29-47	47.3	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	26	矢左	29-3	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水 旧川跡	B B 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.28+74~N0.29-95	42.1	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	27	矢左	28-1	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水 旧川跡	B B 要注	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.27+97~N0.28+74	192.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	28	矢左	27-1	矢場川	越水(溢水) 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市小曾根町	N0.25+94~N0.27+97	455.7	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面対象番号		河川名	重要度		左右岸別	重要水防箇所			延長(m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省担当出張所	想定される水防工法
					種別	階級		地名	料杭位置(K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	29	矢左	26-1	矢場川	(重点)工作物越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市高松町	N0.26+114	1箇所(6.5m)	計算水位が桁下高以上(平成橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	30	矢左	25-1	矢場川	越水(溢水)基礎地盤漏水	B B	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.25+76~N0.25+94	17.5	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう月の輪
渡良瀬川河川事務所	31	矢左	25-2	矢場川	越水(溢水)	B	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.25-41~N0.25+76	116.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	32	矢左	25-3	矢場川	越水(溢水)基礎地盤漏水	B B	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字鶯	N0.25-72~N0.25-41	31.6	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう月の輪
渡良瀬川河川事務所	33	矢左	25-4	矢場川	越水(溢水)基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市高松町	N0.21+64~N0.25-72	651.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう月の輪
渡良瀬川河川事務所	34	矢左	23-1	矢場川	工作物越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市高松町	N0.23-26	1箇所(5m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(鶯橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	35	矢左	22-1	矢場川	工作物越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市高松町	N0.22-38	1箇所(3.9m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(矢場川橋梁)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	36	矢左	21-1	矢場川	越水(溢水)基礎地盤漏水旧川跡	B B 要注	左	栃木県	足利市高松町	N0.21-5~N0.21+64	69.4	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう月の輪
渡良瀬川河川事務所	37	矢左	21-2	矢場川	越水(溢水)基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市高松町	N0.21-81~N0.21-5	76.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう月の輪
渡良瀬川河川事務所	38	矢左	21-3	矢場川	工作物越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市高松町	N0.21-71	1箇所(11m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(八幡橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	39	矢左	21-4	矢場川	越水(溢水)堤体漏水	B B	左	栃木県	足利市高松町	N0.20+102~N0.21-81	20.3	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう表シート張
渡良瀬川河川事務所	40	矢左	20-1	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市高松町	N0.18+72~N0.20+102	396.1	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	41	矢左	18-1	矢場川	工作物越水(溢水)	B B	左	栃木県	足利市高松町	N0.18+78	1箇所(8.2m)	計算水位と桁下高の差が余裕高未満(足森橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	42	矢左	17-1	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.17-75~N0.17-30	45.2	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	43	矢左	17-2	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.15+85~N0.17-75	266.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	44	矢左	15-1	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.15-67~N0.15+85	151.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	45	矢左	15-2	矢場川	堤体漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.14-34~N0.15-67	145.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張
渡良瀬川河川事務所	46	矢左	14-1	矢場川	堤体漏水基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.13+72~N0.14-34	86.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪
渡良瀬川河川事務所	47	矢左	13-1	矢場川	堤体漏水基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.12-73~N0.13+72	309.6	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪
渡良瀬川河川事務所	48	矢左	12-1	矢場川	堤体漏水基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.12-88~N0.12-73	14.7	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪
渡良瀬川河川事務所	49	矢左	12-2	矢場川	堤体漏水基礎地盤漏水旧川跡	B B 要注	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.11+39~N0.12-88	68.6	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査)基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面対象番号		河川名	重要度		左右岸別	重要水防箇所			延長(m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省担当出張所	想定される水防工法
					種別	階級		地名	杆杭位置(K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	50	矢左	11-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.10+94~N0.11+39	195.5	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪
渡良瀬川河川事務所	51	矢左	10-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.9-58~N0.10+94	372.9	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪
渡良瀬川河川事務所	52	矢左	9-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.8+39~N0.9-58	58.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪
渡良瀬川河川事務所	53	矢左	8-1	矢場川	基礎地盤漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.6+51~N0.8+39	406.3	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	月の輪
渡良瀬川河川事務所	54	矢左	6-1	矢場川	(重点) 基礎地盤漏水 旧川跡	B 要注	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.6-15~N0.6+51	66.0	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。 重点監視区間(基盤漏水)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	月の輪
渡良瀬川河川事務所	55	矢左	6-2	矢場川	基礎地盤漏水	B	左	栃木県	足利市瑞穂野町	N0.5+79~N0.6-15	103.2	基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	月の輪
渡良瀬川河川事務所	56	矢左	5-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市野田町	N0.5-63~N0.5+49	112.1	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪
渡良瀬川河川事務所	57	矢左	4-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市野田町	N0.2+39~N0.4-53	313.4	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪
渡良瀬川河川事務所	58	矢左	2-1	矢場川	堤体漏水 基礎地盤漏水	B B	左	栃木県	足利市野田町	N0.1+64~N0.2+10	129.0	堤体の変状が生じるおそれがある箇所(堤防脆弱性・安全性照査) 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所(安全性照査)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	表シート張月の輪

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	3,080	35 箇所	1,706	18 箇所	1,373	17 箇所
総合評価 A	3,013	34 箇所	1,706	18 箇所	1,307	16 箇所
越水(溢水) A	3,013	34 箇所	1,706	18 箇所	1,307	16 箇所
堤体漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
基礎地盤漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 A		13 箇所		6 箇所		7 箇所
総合評価 B	7,772	56 箇所	1,859	14 箇所	5,913	42 箇所
越水(溢水) B	4,365	36 箇所	1,773	13 箇所	2,592	23 箇所
堤体漏水 B	2,771	17 箇所	86	1 箇所	2,686	16 箇所
基礎地盤漏水 B	4,026	25 箇所	0	0 箇所	4,026	25 箇所
水衝洗掘 B	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 B		9 箇所		5 箇所		4 箇所
総合評価 要注	381	4 箇所	381	4 箇所	0	0 箇所
新堤防	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
破堤跡	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
旧川跡	2,541	24 箇所	1,256	12 箇所	1,285	12 箇所

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号		河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法
					種別	階級		地先名	杆杭位置 (K, m)	担当水防団体			担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	1	多右	4-1	多々良川	(重点) 越水(溢水)	B	右	群馬県	館林市木戸町	NO. 3+100~NO. 4	100.0	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未滿 (危険箇所(避難):足森橋観測所) (危険箇所(越水):足森橋観測所)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	2	多右	1-1	多々良川	(重点) 工作物 越水(溢水) 陸閘	A A 要注	右	群馬県	館林市木戸町	NO. 1-10	1箇所 (4.2m)	計算水位が桁下高以上(江川橋) 陸閘形状の構造物が存在する	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	1	多左	1-1	多々良川	(重点) 工作物 越水(溢水) 陸閘	A A 要注	左	群馬県	館林市日向町	NO. 1-14	1箇所 (4.2m)	計算水位が桁下高以上(江川橋) 陸閘形状の構造物が存在する (危険箇所(越水):足森橋観測所)	館林市	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	100	3箇所	100	2箇所	0	1箇所
総合評価 A	0	2箇所	0	1箇所	0	1箇所
越水(溢水) A	0	2箇所	0	1箇所	0	1箇所
堤体漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
基礎地盤漏水 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
水衝洗掘 A	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 A		2箇所		1箇所		1箇所
総合評価 B	100	1箇所	100	1箇所	0	0箇所
越水(溢水) B	100	1箇所	100	1箇所	0	0箇所
堤体漏水 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
基礎地盤漏水 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
水衝洗掘 B	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
工作物 B		0箇所		0箇所		0箇所
総合評価 要注	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
新堤防	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
破堤跡	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所
旧川跡	0	0箇所	0	0箇所	0	0箇所

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地	先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	1	矢捷右	10-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.10+5~N0.10+53	47.4	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	2	矢捷右	10-2	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.10+32	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(藤川橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	3	矢捷右	10-3	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水	A B	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.9+98~N0.10+5	124.5	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	4	矢捷右	9-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	A B 要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.9+76~N0.9+98	21.7	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	5	矢捷右	9-2	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.9+70~N0.9+76	5.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	6	矢捷右	9-3	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県	足利市羽刈町	N0.9-73~N0.9+70	143.7	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	7	矢捷右	9-4	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字藤川	N0.9-93~N0.9-73	19.5	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	8	矢捷右	9-5	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字藤川	N0.8-39~N0.9-93	141.8	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	9	矢捷右	8-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字藤川	N0.8-73~N0.8-39	33.7	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	10	矢捷右	8-2	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字藤川	N0.8-51	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(下藤川橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	11	矢捷右	8-3	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県	足利市羽刈町	N0.8-84~N0.8-73	11.2	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	12	矢捷右	8-4	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	栃木県	足利市羽刈町	N0.7~N0.8-84	140.4	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	13	矢捷右	7-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県	足利市羽刈町	N0.6+31~N0.7	177.3	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	14	矢捷右	6-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.6-15~N0.6+31	46.2	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	15	矢捷右	6-2	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.5-72~N0.6-15	256.0	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	16	矢捷右	5-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.5-82~N0.5-72	10.3	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	17	矢捷右	5-2	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県	足利市羽刈町	N0.4+21~N0.5-82	102.7	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	18	矢捷右	4-1	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	栃木県	足利市羽刈町	N0.4+98	1箇所 (17.8m)	計算水位が桁下高以上(羽刈橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	19	矢捷右	4-2	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.3+35~N0.4+21	184.9	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地	先名	杆杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	20	矢捷右	3-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	栃木県	足利市羽刈町	N0.3+15~N0.3+35	19.9	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	21	矢捷右	3-2	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.3-54~N0.3+15	68.8	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	22	矢捷右	3-3	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.2-90~N0.3-54	251.8	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	23	矢捷右	2-1	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.2+86	1箇所 (7m)	計算水位が桁下高以上(赤谷戸橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	24	矢捷右	2-2	矢場川第二捷水路	越水(溢水)	B	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.1+45~N0.2-90	45.2	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	25	矢捷右	1-1	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.1+86	1箇所 (8.5m)	計算水位が桁下高以上(千原田橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	26	矢捷右	1-2	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.1+5~N0.1+45	40.7	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	27	矢捷右	1-3	矢場川第二捷水路	越水(溢水)	B	右	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.0~N0.1+5	38.9	計算水位と現況堤防高の差が余裕高未満	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	1	矢捷左	10-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.10+26~N0.10+52	25.9	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	2	矢捷左	10-2	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.10+41	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(藤川橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	3	矢捷左	10-3	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.10-16~N0.10+26	42.3	計算水位が現況堤防高以上	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	4	矢捷左	10-4	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.10-22~N0.10-16	5.4	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	5	矢捷左	10-5	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字秋妻	N0.10-104~N0.10-22	81.7	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	6	矢捷左	10-6	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.8-32~N0.10-104	346.8	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	7	矢捷左	8-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字藤川	N0.8-70~N0.8-32	37.6	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	8	矢捷左	8-2	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字藤川	N0.8-54	1箇所 (4m)	計算水位が桁下高以上(下藤川橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	9	矢捷左	8-3	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.7+64~N0.8-70	80.6	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	10	矢捷左	7-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	A B 要注	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.6-34~N0.7+64	296.7	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。 重点監視区間(法崩れ・すべり)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	11	矢捷左	6-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	A B 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.5-41~N0.6-34	201.0	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう 表シート張

様式-2

令和4年度 直轄河川重要水防箇所一覽表

事務所名	番号	図面 対象 番号	河川名	重要度		左右 岸別	重要水防箇所			延長 (m)	重要な理由	県及び市町村		国土交通省 担当出張所	想定される 水防工法	
				種別	階級		地	先名	料杭位置 (K, m)			担当水防団体	担当土木事務			
渡良瀬川河川事務所	12	矢捷左	5-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 堤体漏水 旧川跡	A B 要注	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.5-71~N0.5-41	30.4	計算水位が現況堤防高以上 堤体の変状が生じるおそれがある箇所(安全性照査) 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 表シート張
渡良瀬川河川事務所	13	矢捷左	5-2	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 基礎地盤漏水 旧川跡	A B 要注	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.3+15~N0.5-71	311.8	計算水位が現況堤防高以上 基礎地盤漏水の生じるおそれがある箇所 (安全性照査) 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう 月の輪
渡良瀬川河川事務所	14	矢捷左	4-1	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.4+101	1箇所 (17.8m)	計算水位が桁下高以上(羽刈橋)	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	15	矢捷左	3-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	栃木県	足利市羽刈町	N0.3-34~N0.3+15	48.8	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	足利市	安足土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	16	矢捷左	3-2	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.2+88~N0.3-34	73.3	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	17	矢捷左	2-1	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水)	A	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.1-11~N0.2+88	301.7	計算水位が現況堤防高以上	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	18	矢捷左	2-2	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.2+54	1箇所 (7m)	計算水位が桁下高以上(赤谷戸橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	19	矢捷左	1-1	矢場川第二捷水路	(重点) 工作物 越水(溢水)	A A	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.1+81	1箇所 (8.5m)	計算水位が桁下高以上(千原田橋)	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう
渡良瀬川河川事務所	20	矢捷左	1-2	矢場川第二捷水路	(重点) 越水(溢水) 旧川跡	A 要注	左	群馬県	邑楽郡邑楽町大字中野	N0.0~N0.1-11	18.9	計算水位が現況堤防高以上 旧川跡。	邑楽町	館林土木	佐野河川出張所	積み土のう

	合計		右岸		左岸	
	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数
(重点区間)	3,751	45 箇所	1,848	25 箇所	1,903	20 箇所
総合評価 A	3,751	45 箇所	1,848	25 箇所	1,903	20 箇所
越水(溢水) A	3,751	45 箇所	1,848	25 箇所	1,903	20 箇所
堤体漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
基礎地盤漏水 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
水衝洗掘 A	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 A		10 箇所		5 箇所		5 箇所
総合評価 B	84	2 箇所	84	2 箇所	0	0 箇所
越水(溢水) B	84	2 箇所	84	2 箇所	0	0 箇所
堤体漏水 B	674	5 箇所	146	2 箇所	528	3 箇所
基礎地盤漏水 B	312	1 箇所	0	0 箇所	312	1 箇所
水衝洗掘 B	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
工作物 B		0 箇所		0 箇所		0 箇所
総合評価 要注	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
新堤防	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
破堤跡	0	0 箇所	0	0 箇所	0	0 箇所
旧川跡	2,378	25 箇所	845	13 箇所	1,533	12 箇所